



2006年7月27日

各 位

株 式 会 社 メ イ テ ッ ク
代表取締役社長 西 本 甲 介
東京都港区赤坂8丁目5番26号
(コード番号9744 東証・名証第一部)
(URL <http://www.meitec.co.jp>)
問合せ先 広報部長 足立 博之
(TEL 03 5413 2600)

(訂正)2007年3月期第1四半期財務・業績の概況(連結)の一部訂正について

2006年7月26日に公表いたしました2007年3月期第1四半期財務・業績の概況(連結)(2006年4月1日～2006年6月30日)の記載に誤りがありましたので、下記の項目について訂正いたします。

なお、この訂正による2007年3月期第1四半期の連結業績(2006年4月1日～2006年6月30日)、及び2007年3月期の連結業績予想(2006年4月1日～2007年3月31日)への影響はありません。

記

(訂正箇所)

- 第1四半期財務・業績の概況(連結)
- ・ 2.2007年3月期第1四半期の業績概況
 - (1)経営成績(連結)の進捗状況
(参考1-1)日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社とその子会社の第1四半期経営成績等の概況
3 ページ
 - ・ (2)財政状態(連結)の変動状況
3 ページ
 - ・ 【連結キャッシュ・フローの状況】
4 ページ
 - ・ 1)資産、負債及び資本の状況
4 ページ
 - ・ 2)キャッシュ・フローの状況
4 ページ

訂正箇所には下線を付しております。

以 上

[訂正前]

(参考1-1) 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社とその子会社の第1四半期経営成績等の概況

(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2007年3月期第1四半期	1,532	2.5	14	-	29	85.3	23	88.4

[訂正後]

(参考1-1) 日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社とその子会社の第1四半期経営成績等の概況

(2006年4月1日 ~ 2006年6月30日)

(百万円未満切捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2007年3月期第1四半期	1,532	1.9	14	-	29	85.7	23	89.5

[訂正前]

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	株主資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2007年3月期第1四半期	63,249	46,714	73.6	1,273.30
2006年3月期第1四半期	66,267	49,179	74.2	1,296.73
(参考)2006年3月期	67,185	46,668	69.5	1,274.10

[訂正後]

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨て)

	総資産	純資産	株主資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2007年3月期第1四半期	63,218	46,692	73.6	1,272.67
2006年3月期第1四半期	66,267	49,179	74.2	1,296.73
(参考)2006年3月期	67,185	46,668	69.5	1,274.10

[訂正前]

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2007年3月期第1四半期	1,546	78	1,684	13,975
2006年3月期第1四半期	225	302	1,135	15,209
(参考)2006年3月期	9,373	894	8,133	17,275

[訂正後]

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2007年3月期第1四半期	1,546	78	1,684	13,976
2006年3月期第1四半期	225	302	1,135	15,209
(参考)2006年3月期	9,373	894	8,133	17,275

[訂正前]

1) 資産、負債及び資本の状況

2006年3月期末に比して総資産が39億36百万円減少しておりますが、賞与の支給、法人税等の納付、利益処分による社外流出の結果として、流動資産の現金及び預金が32億98百万円減少し、流動負債の未払費用が26億9百万円減少し、未払法人税等が22億79百万円減少したこと等を反映したものです。また、純資産の部については若干減少しておりますが、第1四半期の経営成績の結果による利益剰余金の増加効果が、前連結会計年度分の利益処分による利益剰余金の減少効果と相殺された結果です。

[訂正後]

1) 資産、負債及び資本の状況

2006年3月期末に比して総資産が39億66百万円減少しておりますが、賞与の支給、法人税等の納付、利益処分による社外流出の結果として、流動資産の現金及び預金が32億98百万円減少し、流動負債の未払費用が26億9百万円減少し、未払法人税等が22億79百万円減少したこと等を反映したものです。また、純資産の部については若干減少しておりますが、第1四半期の経営成績の結果による利益剰余金の増加効果が、前連結会計年度分の利益処分による利益剰余金の減少効果と相殺された結果です。

[訂正前]

2) キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果使用した資金は15億46百万円となりました。これは主に税金等調整前第1四半期純利益が3億67百万円増加し29億67百万円 (14.1%増) となったことに比して、法人税等の支払額が15億28百万円増加し35億72百万円 (74.8%増) となったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は78百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は16億84百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は、2006年3月期末に比して32億99百万円減少し、139億75百万円となりました。

[訂正後]

2) キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果使用した資金は15億46百万円となりました。これは主に税金等調整前第1四半期純利益が3億44百万円増加し29億44百万円 (13.3%増) となったことに比して、法人税等の支払額が15億28百万円増加し35億72百万円 (74.8%増) となったことによるものです。

投資活動の結果使用した資金は78百万円となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

財務活動の結果使用した資金は16億84百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

以上の結果、現金及び現金同等物の第1四半期末残高は、2006年3月期末に比して32億98百万円減少し、139億76百万円となりました。